

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

第2号
発行日
2016年12月

発行 さがみはら生物多様性ネットワーク

冬こそ身近な野鳥と出会う季節です。

相模原市には、身近な野鳥観察スポットがたくさんあります。今回はその中から特におすすめするスポットをご紹介します。冬の澄みきった空の下、ちょっとした合間に、お出かけしてみたいはいかがでしょうか。



宮ヶ瀬湖周辺 早戸川林道

宮ヶ瀬湖周辺の早戸川林道は樹林の中や湖沿いに野鳥が数多く見られます。沢で水浴びをする鳥や、湖面を飛ぶ「ヤマセミ」、「ベニマシコ」なども観察できるスポットです。

神沢(かんざわ)河原周辺

相模川の大沢地区にある神沢河原は、相模川沿岸でも自然度の高い玉石河原の残る静かな環境です。「アオサギ」やカモ類など様々な野鳥が観察できるスポットです。

鹿沼公園

公園内にある「白鳥池」では、数羽の「コブハクチョウ」がおり、毎年5月から6月のアジサイの花咲く頃には、可愛いヒナを見ることが出来ます。カモやサギ類も見ることができます。

三段の滝展望広場

この展望広場は河岸段丘の地形を利用しているため、見晴らしがよく、対岸の向こうの山々がパノラマ的に見渡せます。多くの野鳥が観察できるスポットです。

境川(古淵～町田)

境川は市街地を流れる川ですが、川沿いには小さな林が点在し、動植物の憩いの場として、川とみどり为一体となった良好な自然環境が残されています。JR古淵駅から境川沿いを町田駅まで歩いてみると、意外にも様々な野鳥を観察できる身近なスポットです。

木もれびの森

木もれびの森は首都圏でも有数の大規模な平地林です。年間50種以上の野鳥が観察できるスポットです。

野鳥観察の一息に～お立ち寄り観光スポット 自然の中で「味わう、泊る、遊び学ぶ」施設(相模原市観光協会HPより)～



鳥居原ふれあいの館

地元新鮮な農林産物、加工品、工芸品や地元の特産物の販売の他に、ゆっくりと休憩できる食堂などもあります。

☎ 042-785-7300



相模川清流の里

相模川の豊かな自然とふれあいつつ、四季折々の変化を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすことができる公共の宿です。

☎ 042-760-2711



相模川ふれあい科学館
アクアリウムさがみはら

相模川に生息する淡水生物を中心に飼育展示しています。手を水槽に入れて餌やりができる体験やワークショップが人気です。

☎ 042-762-2110



相模の大風センター
(れんげの里あいそ内)

展示室では、毎年相模の大風まつりの映像を自由に視聴できます。ギャラリーには世界や日本各地域の伝統的な凧が展示されています。

☎ 046-255-1311

コラム お米作りは命めぐる風景作り ～ 田んぼと生物多様性との関わり～

日本の田んぼは、生き物の気配でとてもにぎやか。なんとその数は5,000種以上！日本列島に水稲が伝わってから2千数百年、長い歴史の中でももともとは湿地や川にいた生き物たちが新たなすみかとして田んぼを選んでくれました。

カエル、メダカ、ドジョウ、ゲンゴロウ、畔を崩す困り者のオケラたち。いろんな昆虫や両生類が集まってくる田んぼは、ヘビや鳥たちにとってレストラン。お互い食べたり食べられたり、産卵や子育てをしたりと多様な生き物が田んぼを活用しています。

お米作りは命めぐる風景作りとも言えます。春の畔を彩る草花、田植えの頃には大合唱するカエルたち、夏にはホタル、稲穂垂れる秋にはアカトンボ、冬には雁と四季を通して田んぼに現れる様々な生き物と人の出会いは、祭りや唄など文化も育んでいます。

残念ながら今の日本では7割の人がオケラを見ることがないとのこと...田んぼの魅力再発見は生物多様性を守る大事な一歩になります。



国連生物多様性の10年市民ネットワーク
代表 坂田 昌子

コラム 動物飼育は計画的に！ ～ わたしたちにできる生物多様性への取り組み～

以前は縁日でよく見かけた「カメすくい」。そこで見かけた愛らしいカメの幼体は、通称「ミドリガメ」とよばれますが、正式には「ミシシippアカミガメ」といいます。



北米原産で90年代には年間約100万匹が輸入され、ご家庭で飼育されることも多かったこの身近なカメが、近年では農作物や生態系に悪影響を及ぼしているとして注目されています。

実はこのアカミガメ、成長のスピードが早く、成長すると背甲長が30cmを超える大きさになり、また40年近く生きるため、飼育途中で飼いきれなくなって野外に放棄されたり、逃げ出したりして野生化してしまい、さらに生命力が強いことなどが原因で分布が拡大してしまったと言われています。

このアカミガメに限らず、動物の外来種問題は人間が無計画に輸入や飼育したことに由来する場合があります。動物たちを悪者にしないためにも、わたしたちは飼育する前に、その動物の生態や特徴を調べ、寿命を全うするまで飼育し続けることが大切なのです。

相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら
挟間 雅行

会員紹介コーナー 個人会員・団体会員をご紹介します。

出口 忠夫さん(個人会員)

「生物多様性」について全く知らない私に関心を持つようになったのは、相模原市の「水とみどりの審議会」に公募委員として関わるようになってからです。知れば知るほど「生物多様性」が私たち人間にとって如何に重要なテーマであるか、一部の専門家だけに任すのではなく市民一人一人が自覚して取り組むことの必要性を痛感しています。パリ協定でお馴染みの「地球温暖化」は大変分かりやすい言葉ですが、「生物多様性」も一般の人に身近に感じて貰えるようにしなければなりません。そのためには広報活動が大事です。微力ながら貢献できればと思っています。

出口忠夫(南区相模大野) degu_nomuki@yahoo.co.jp

NPO法人 篠原の里(団体会員)

緑区牧野の篠原地区は都心からわずか1時間という立地ながら、縄文遺跡、ホタルやギフチョウが飛び交う自然の豊かな環境です。

篠原の里では、廃校になった小学校を活用し、里山環境と文化の保全や地域交流の促進、都市と農村の交流を目的として休耕田の手入れや炭焼きを行うほか、間伐体験、ブルーベリー収穫、竹笛作りなど地域に密着した様々な体験プログラムや子育て支援事業を実施しています。

問い合わせ先

〒252-0186神奈川県相模原市緑区牧野2881

電話 042-689-2051

Eメール: shinoba@bz01.plala.or.jp

会員募集中！！

「さがみはら生物多様性ネットワーク」に入会して、生物多様性の保全と一緒に取り組みませんか。

ネットワークの趣旨に賛同する個人・団体・事業者で、活動に積極的に参加していただける人であれば、どなたでも入会できます。

年会費・・・1口 1,000円

個人会員・団体会員 / 1口以上
事業者会員 / 2口以上

さがみはら生物多様性ネットワーク事務局 (相模原市水みどり環境課内)

相模原市中央区中央 2-11-15

電話: 042-769-8242

Eメール: midori@city.sagamihara.kanagawa.jp

入会申込書のダウンロードはこちらから
相模原市生物多様性ポータルサイト



相模原市 生物多様性

検索